

# 女性が見た西東京の今昔

## 22人登場 NPO が聞き書き集

西東京市内で活動するNPOが中心となり、合併前の旧田無市議会で議長を務めた女性や旧保谷市の郷土史研究会会長など、市の発展に貢献した女性たちへの



女性史の編集に携わったジェフリーのメンバーら

インタビューを「西東京市の女性の聞き書き集2010」という冊子にまとめた。15日から、市内3か所で配布される。(佐々木大輔)

聞き書き集を企画したのは、男女共同参画に向けて調査や講座などを行うNPO「生活企画ジェフリー」理事長の渡辺美恵さん(64)。まちづくりに携わった女性の活動が市史にはほとんど登場していないことに疑問を持ち、「表舞台に出てきていない女性たちの声を今残しておかなければ」と編さんを思い立ったという。女性の多くが高齢になってきていることや、合併に伴う資料散逸への危機感にも背中を押された。「西東京市の女性史を編さんする会」を結成し、メンバー

12人で昨年7月からインタビューを重ねてきた。

登場するのは、田無地区と保谷地区に住む70歳代から90歳代までの女性22人。旧田無市議会の女性議長となつた白井智子さん、旧保谷市長の夫と同時期に市議を務めた都丸泰江さんら政治家のほか、ひばりが丘団地の造成当初から住み続けている女性、都立高校の新設を求めて活動した女性など、幅広い分野から選んだ。

ソードを交えて地域の今昔を語っている。

22人のほかにも、インタビューできなかった4人については、ゆかりの人が評伝を寄せた。巻末では1945年から現在に至る西東京市の女性の歩みを年表にまとめた。

500部制作。15日から市役所田無庁舎企画政策課、保谷庁舎協働コミュニティ課、男女平等推進センターパリテ(住吉町6)の3か所で配布される。問い合わせはジェフリー(042-467-2089)へ。

聞き書き集の中で、女性たちは、「女のくせに生意気だ」などと罵声を浴びながら議場で質問した当時の思いや、道路や上下水道が整備される前の昭和30年代、長靴を駅の前から所に預けて靴を履き替えて通勤した苦労など、様々なエピソード

# 武蔵野版

武蔵野支局  
武蔵野市西久保  
1の4の10  
〒180-0013  
電話  
(0422)51-3131  
FAX  
(0422)51-3133  
musasino@yo  
miuri.com

広告連絡  
(03)5226-9925

購読申し込み  
フリーダイヤル  
0120-4343-81